平成　22　年　　12月　補正予算要求事業調書

1　予算要求事業の概要

No.	事業名(予算の事務事業名)	区分		
32	(仮称)谷田地区公民館整備事業	新規	拡大	(継続)

会計区分	款	項	目	所管
一般会計	10	6	2	教育委員会事務局　生涯学習総合センター

事務事業の位置付け

しあわせ倍増プラン2009	番号		事業名	
総合振興計画新実施計画	事業コード	3202	事業名	公民館整備事業
根拠法令・条例・規則等				

予算要求事業の概要

内容

南区の谷田地区に新たに地域コミュニティ形成並びに地域の学習拠点として、(仮称)谷田地区公民館(善前公民館)を建設します。

目的・目標

<目的>
南区の谷田地区に新たに地域コミュニティの形成並びに地域の学習の拠点とするために、(仮称)谷田地区公民館(善前公民館)を建設します。

<目標(平成22年８月から９月)>
1　(仮称)谷田地区公民館建設工事の竣工
2　善前公民館の開館

現状と課題

<現状(平成22年９月上旬現在)>
(仮称)谷田地区公民館建設工事竣工後実施している家屋事後調査において、事前調査と比較して被害が発生している近隣の家屋があり、補償に向けて話し合いを行っています。事後調査は継続中です。

<課題>
今後、被害のあった家屋がさらに発見される可能性があります。

今後のスケジュール

・平成22年度　補償交渉
　　補償額の確定
　　補償料の支払い

2　補正予算要求の理由と効果

要求理由	緊急性	建設工事による被害の出ている住宅があるため、そこに居住する方の生活のためにも早期に補償する必要があります。
	実施義務	根拠法令等
	他市の実施状況	政令市： 県内他市：
効果	対象者	被害対象住民
	効果	建設工事による周辺住宅の被害が復旧します。

3　当初予算と補正予算要求の内容

(単位：千円)

	区分	金額	備考
平成22年度	当初予算	159,578	<積算内訳> 1　消耗品費　6,800 2　印刷製本費　95 3　保険料　54 4　その他委託料　8,047 5　工事請負費(単独事業)　116,582 6　備品購入費　28,000
	財源内訳 ⑥　市債	137,300	
	⑥　一般財源	22,278	
12月補正予算	補正予算要求	21,000	<積算内訳> 1　建設工事の影響による家屋補償
	財源内訳 ①　一般財源	21,000	
	財政局長査定	21,000	<査定内容> 1　建設工事の影響による家屋補償
	財源内訳 ①　一般財源	21,000	
	<査定理由> 当該住民との合意はなされており、早期の補償を求められていることから、必要な経費であると判断し、12月補正予算に計上することとしました。		
	市長査定	21,000	<査定内容> 1　建設工事の影響による家屋補償
	財源内訳 ①　一般財源	21,000	
	<査定理由> 財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。		